

市内商工業者・農業者向けの支援策

①新型コロナウイルス感染症に関する経営のお悩み個別相談会

市と市商工会、熊本県よろず支援拠点の3者共催で、新型コロナウイルス感染症に関する経営のお悩み相談会を開催します。国の持続化給付金や家賃補助などの新型コロナウイルス感染症に関する支援や電子申請のサポートを行ないます。

内 容	申し込み・問い合わせ先
▼と き 第1回目7月15日(水)・第2回目7月29日(水) (それ以降は、毎月第1、第3水曜日) ー各回共通ー ①午前9時～10時30分、②午前10時30分～正午、③午後1時～2時30分、 ④午後2時30分～4時 ※開催日が祝日の場合は日にちが前後する場合があります。 ※第3回以降の開催日は市ホームページに掲載します。 ▼と ころ ルーロ合志1階市民ラウンジ 御代志1661-1 ▼申込方法 市ホームページの参加申込書を記入のうえ、お申し込みください。 ※個別相談会は事前申込制の先着順です。定員に達し次第、お断りすることもありますのでご了承ください。 ※開催日前週の金曜日までにお申し込みください。	(市商工業者) 商工振興課 ☎248-1115 (市農業者) 農政課 ☎248-1445

②市継続支援金

市は独自の支援策として、新型コロナウイルス感染症による影響で売上が減少した事業者を対象に交付します。

内 容	申し込み・問い合わせ先
▼対 象 者 令和2年1月以降、前年同月比で事業収入が30%以上50%未満減少した月があり、県事業継続支援金の交付決定を受けた者のうち次の①～③のいずれかに該当する者 ①市内に本社が所在する法人 ②市内に住所または事業所を有する個人事業者 ③市内に住所を有する農業者 ※市外に事業所があり、令和2年6月1日以降に市に転入した事業者は対象になりません。 ▼支 援 額 一律10万円 ▼申請期限 令和3年2月末(予定)	(市商工業者) 商工振興課 ☎248-1115 (市農業者) 農政課 ☎248-1445

③市短期貸付金利子補給

市では独自の支援策として、短期かつ早急な融資を必要とし、取扱金融機関から融資を受けた場合に支払った利子を補給します。

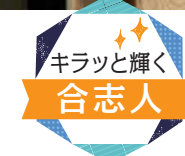
内 容	申し込み・問い合わせ先
▼対 象 者 次の①、②のいずれにも該当する者 ①市内中小企業者および個人事業主 ②令和2年5月7日から令和2年9月30日までの間に取扱金融機関から融資を受けた者 ▼取扱金融機関 市内に支店を有する金融機関 (肥後銀行、熊本銀行、熊本信用金庫、熊本県信用組合) ▼利子補給期間 6カ月 ▼融 資 上 限 額 1,000万円 ▼補給対象となる融資の上限利率 1.5% ▼申請期限 令和3年3月31日	(市商工業者) 商工振興課 ☎248-1115 (市農業者) 農政課 ☎248-1445



①以前出店していた物産フェアの賑わい
 ②正確に削り出した竹ひごと愛用のノギス
 ③モダンな作品はユーパレス弁天に出品



もの作りの楽しさに
魅かれて



合志市竹細工愛好会
 副会長 北里 勝弘さん
 (永江団地)

「自分の性格に合っていた」という北里さんと竹細工の出会いは小国の叔父と共に愛好会に入会し、習い始めたことから。「合っていたのは、竹を割ったような性格というより、細かくコツコツ作る粘り強い点」だった。叔父は亡くなったが、今ではその想いを引き継ぎ9年になった。

竹細工は細く切った竹ひごを編み込み、作り上げる。同会員の竹山で真竹を切り出し、竹を乾かす油抜きという下準備などを行ない、小さく削り竹ひごを作っていく。800本以上の均等な竹ひごが必要となることもあり、ここで寸法が合わないとは仕上がりに影響する。納得いくまで削り直すと手間がかかるが「作品が仕上がっても、さらに欲が出て、もう少し、と作り直すことが多い。そこがまた、竹細工を作る奥深い面白さ」と語る。探求心が突き動かされるから無心で手が動くのだ。

六ツ目編みに始まり、ゴザ目、網代編み模様など、実用的で美しい工芸品を、ユーパレス弁天やカントリーパークで出品している。量産されるプラスチック製品の価格とは差がでるが、「丹精込めたものが売れたときは、とてもうれし

い」と微笑む。

同愛好会はヴィーブルで月に2回例会を開き、技術向上と会員の親睦を図っていたが、新型コロナウイルスの影響でこの春の例会や初市など催しの出品も中止になってしまった。

その間は、自宅工房で一人で制作していた。ようやく会合も再開の目途が立ち、仲間と共に竹細工を作る日も近い。

今後は新規会員の拡大にも意欲的だ。愛好会のカリキュラムは、入会すると初級から始まり、中級、上級へと進む。北里さんは「ひと通り履修したがこの道に卒業はない」と言う。

「目標のひとつは以前に一度出品した、県伝統工芸館主催の、くらしの工芸展への再挑戦。それにはもっと腕を上げて、出品したい」とも。ほんの一瞬、落選の悔しさが、北里さんの胸によぎったように感じた。

時には食べるのを忘れるほど夢中になる、負けず嫌いの一面が竹に向かわせる。

問い合わせ先
 合志市竹細工愛好会(西村会長)
 ☎(221)3219